

日本原子力学会核燃料部会

平成18年度第 三回運営委員会議事録

日時 : 平成18年9月27日(水) 13:30-12:30

場所 : 北海道大学(秋の大会) A棟4階A4-59

出席者 : (順不同 敬称略)

山脇部会長、山本副部会長、磯部委員、伊東委員、今村委員、岩田委員、緒方委員、来山委員、木下委員、佐藤委員、杉崎委員、寺井委員、野田委員、平井委員、三島委員、森山委員、山中委員、高島氏(藤田(元)委員代理)

議事

1. 前回運営委員会事録案確認

野田委員から資料No.1に基づき前回運営委員会議事録案の説明があり、承認された。

2. 部会長の交代および部会代表評議員について

野田委員から資料No.2に基づき部会長の交代および部会代表評議員について紹介があった。

3. 総会配付資料の確認

野田委員から資料No.3に基づき当日の総会で説明する資料の説明があり、了承された。部会長から総会では担当者から詳細を紹介した方が良いとコメントがあり、各担当者が説明することとした。

4. 平成19年度以降の運営委員業務分担案

野田委員から資料No.4に基づき平成19年度から21年度までの運営委員業務分担案の説明があり、承認された。議論のあったHP担当については、平成19年度から外部に委託する。

5. プログラム編成委員について

平井委員から、プログラム編成委員会の体制が変更となるとの説明があり、当部会からプログラム編成委員を選出するかを検討したが結論に至らなかった。山本副部会長と平井委員で選出の要否、選出する場合の推薦者の候補選定を行い、次回委員会で再検討することとした。

6. 平成18年度予算途中報告および平成19年度予算案について

野田委員から資料No.6に基づき平成18年度予算途中報告と平成19年度予算案の紹介があった。平成18年度予算途中報告としては、収入としてセミナー残金が83,241円となったこと、支出として05年WRFPM費用が予算額より大きくなる見込みであること、ならびに平成19年度予算案では、その他の支出としてHP管理費とメーリングリスト賃借費として50,000円計上することが紹介された。

7. JMTRへの要望書について

JAEAから部会長にJMTRに関する要望書を提出して欲しいとの依頼があったことについて協議した。既に他の委員会、WG等で議論が進んでいるため、山脇部会長から依頼者に要望書提出依頼の主旨を確認すると共に、要望書が必要な場合、JAEAから核燃料部会へ説明を受けた後に対応を検討することとした。

8. 2006年日韓合同セミナーについて

山本副部会長から資料No.8、8-2に基づき今年度の日韓セミナー等の説明があった。11月に韓国で日韓合同セッションと日韓セミナーが開催され、日韓セミナーでは山脇部会長が核燃料部会からの推薦として講演を行う。日韓合同セッションでの旅費の一部負担依頼があったこと、および日韓セミナーでの部会長の旅費、滞在費について協議し、開催国が滞在費等を負担する約束を再確認する必要はあるが、支払うことに関しては了承された。

9. 2007年「春の年会」企画セッションについて

緒方委員から「春の年会」での企画セッションの紹介があった。緒方委員が、中国からの招待、および材料部会、核融合部会との合同開催とするかについて確認し、次回委員会で再検討することとした。

10. 平成18年度夏期セミナー報告および夏期セミナーでの講師への謝金について

三島委員から資料No.10-1に基づきアンケート集計結果および収支が報告された。また、資料10-2に基づき夏期セミナーでの講師参加費と謝金について協議したが、学会および部会はボランティアで運営されていることから非学会員、非部会員への支払の検討が必要で、次回委員会で再検討することとした。

11. 平成19年度夏期セミナー準備状況

来山委員から資料No.11に基づき次回夏期セミナー案について紹介があり、協議した。日韓セミナーがH19.7に北海道大学で開催されること、材料部会は前記を夏期セミナーにすることが紹介された。多数決から当部会では、夏期セミナーを別途実施することにしたが、開催日時、場所については、次回委員会で再検討することとした。

12. 次回部会報(No. 42)の企画立案状況報告

磯部委員から資料No.12に基づき次回部会報の検討状況と、今年中に内容を固め、1月に発行したい旨紹介があった。国際会議紹介に10月に実施されるTOP FUEL、国際交流ニュースに山脇部会長が出席される日韓セミナーを追加することにした。

以 上

過去の運営委員会議事録の一覧はこちらです。

[過去の運営委員会議事録一覧](#)